

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年5月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102290
法人名	株式会社 亀藤
事業所名	グループホーム 楽
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町1207番地1 (電話) 099-203-0577
自己評価作成日	令和4年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年5月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・広々とした敷地内で、田園風景を眺めながら自宅にいるようなゆっくりとした穏やかな時間を過ごしていただいている。
- ・コロナ禍の為外出は控え、敷地内の菜園で土いじりや季節の野菜、花作りを楽しめるよう支援している。野菜の収穫も一緒に行い食事の材料として提供したり、花はテーブルに置き観賞している。
- ・24時間医療連携体制のもと、月2回の訪問診療や毎週1回の訪問看護で入居者の体調管理に努め、必要時には医療支援を受けられるようにしている。
- ・自立支援を基本に必要な時には声かけ、見守りを行い安心、安全に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、周囲に保育園、公民館、小学校、交番、郵便局等があり、バス停も近く家族や知人等が訪問しやすい環境にある。また、敷地も広く、利用者は菜園を作り季節の花や野菜を植えて、育てて収穫する事を楽しみにしている。
- ・コロナ禍で面会も制限されているので、家族との関係性が途切れないよう、美味しく食事している風景やレクリエーションで楽しんでいる笑顔の場面などを撮り、毎月、家族に届けている。電話での報告も必要時行っている。
- ・職員の年齢層は若くお互いのコミュニケーションも良く、管理者と協力して良い施設づくりに努めている。
- ・母体の医療機関とは24時間医療連携体制が取れており、職員も安心して勤務に取り組んでいる。
- ・コロナ禍で外部の研修が自粛されている中、職員の質向上についても協力的で色々な勉強会や内部研修に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を見えるところに掲示し、念頭い置きながら日々の支援に努めている。	理念はホールや廊下に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝の申し送りやミーティング・勉強会で唱和している。利用者が安心して生活ができるよう、日常の業務の中で確認して、理念の振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍なので地域の方々との接触を控えているが、会った時などは会釈をしている。	町内会に加入している。施設の菜園で収穫した野菜等を地域の方へおすそ分けしたり、梅などの差し入れがある。今後は回覧板等を利用して地域の情報を得て、施設からも情報を発信していくよう検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症に関する資料配布をし、ご家族の方々や地域の方へ認知症の人の理解や支援内容を知っていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容をご家族や地域の方々へ配布し、当施設の活動状況や内容を知っていただくよう努めている。いただいた意見や助言は支援に反映し、向上に努めている。	会議は定期的に行っている。施設の活動状況や入所者状況等、会議の内容を文書にして、家族や地域へ配布している。行政へは郵送して意見を電話等で聞いている。意見や助言はサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>現在の入所申し込み状況や待機状況を報告している。相談しながら助言や意見等もいただいている。</p>	<p>直接窓口に出向き、申請等を行っている。相談等については電話で実施している。事業所の空き室状況の相談もしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>申し送りやミーティングや勉強会等の機会に身体拘束の内容を学び、身体拘束廃止へ向けての支援に努めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に委員会を開催し、マニュアルを基に事例を出して勉強会をしている。スピーチロックは特に職員同士で注意し合っている。昼間は玄関の施錠はしていない。外出を希望する時は敷地内の菜園へ出かけて気分転換を図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングや勉強会等の機会を利用し、管理者・職員相互の支援を確認しながら虐待がないか注意を払い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>認知症症状による判断能力低下の入居者の日頃の状態を観察しながら支援・援助を行いつつ、家族の方へも連絡や報告をしながら支援している。成年後見制度について活用につなげられるよう勉強会を行った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には丁寧に内容を説明し事業所の理念や活用内容を理解していただけるよう努めている。医療連携体制についても詳しく説明し、納得、理解、協力、同意を得られるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話対応時に現状報告をし意見や要望を聞いている。できることは支援に努めている。	入浴時や夜間・昼間くつろいでいる時に思いや要望等を聞き、個人の記録に残している。家族からは窓越し面会時や電話で聞き取ったり、毎月の便りで生活状況や活動状況の写真を送った時に意見や要望を聞いて対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送り時や月2回のミーティングを行い、職員の意見や要望を聞き生かせるような場を設けている。決まった事柄は速やかに実行に移し、支援に努めている。	申し送り時やミーティング時、日々の活動の中で聞いている。ケアの一連の流れについて職員で意見を出し合い、修正したり新しく取り入れたりしている。意見が言いやすい環境にあり、何事も全職員で話し合っって対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員から出た要望や意見は速やかに代表者へ報告し判断を仰いでいる。また直接職員の声を聞いていただける場を設けている。その中で意見や方針を貰っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍で研修が難しい現状の中、WEB研修等を利用し研修参加に努めている。学んだことは研修受講者以外の職員にも資料を閲覧で出したり、勉強会等でフィードバックしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームや介護施設との情報交換を行い、当施設で活用できるものは速やかに取り入れ支援に努め、構築に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に話をする場を設け、本人の思いや希望や不安なこと等を聞いている。少しでも早く生活に慣れていただけるようレクレーション等に参加していただいている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時に家族の方の話をよく聞き、思いや要望、不安に思っていることを把握し、できるだけ気持ちや思いに添えるよう説明に努め、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前に思いや要望を聞き、必要な支援に対しては母体病院で外来リハビリや訪問マッサージ等を利用できるよう配慮している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入居者と同じ目線に立ち、話をゆっくり傾聴し共感しながら支援に努め、信頼関係に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご家族の面会時や電話対応時には日々の状況や体調変化を報告している。ご家族へ安心していただけるよう、また入居者へご家族の思いを伝えられるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々との交流を継続できるよう電話や手紙でのやり取り等支援している。本人が希望すれば窓越し面会の対応もしている。	窓越し面会を行ったり、携帯電話で家族・親戚・知人等と対話し、馴染みの関係が継続できるように支援している。2ヶ月に1回美容師の訪問がある。家族と行きつけの美容院へ出かけたたり、墓参りに出かけたたりしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日レクレーションを行い関係構築を図っており、入居者同士の関係が良好に保てるよう職員は目配り、気配りの配慮に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも声かけや相談いただける場であることを心がけており、退所されても連絡いただけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや要望が反映できるよう職員同士連携し、申し送りに努め日々の支援に活かしている。	日々の関わりの中やお茶の時間・夜間眠れない時・入浴時等に本人の思いや希望を聞いている。言葉で言い表せない利用者には、個々に話のできる場所へ移動してゆっくりと表情や仕草等で把握したり、家族からの情報から、本人の思いに沿うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との談笑やレクリエーション、回想ゲームを通しこれまでの考え方や生活歴を知りケアに生かせるよう支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者一人ひとりに合わせて、残存機能を生かしながら、個人の生活ペースで過ごしていただくよう支援している。心身状態は体調変化に気をつけながら職員同士情報共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の思いや要望を聞き自立支援に取り組んでいる。居室担当をつけ日頃の生活の様子からうかがえる問題点や改善点を拾い出しケアプランに取り入れ介護計画の作成に活用している。定期的なモニタリングも行っている。	本人や家族の意見や要望を聞き、職員の意見を参考にして主治医と話し介護記録を基にして介護計画を作成している。モニタリングは月1回、見直しは3～6ヶ月毎にまた、状況に応じて実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身体状況や行動や言動、様子、職員の気づき等を介護記録に残し、職員同士、情報共有に努めている。状況に応じてケアプランの見直しや介護支援の内容の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急時の受診が必要な時は職員同行での受診を行っている。訪問歯科や訪問美容等希望があれば依頼を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問マッサージ師や母体病院のリハビリ師より体操や可動域を広げる運動を教わり、体を動かす事を楽しんでいただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の月2回の訪問診療を行っている。体調変化時には往診依頼を行ったり他科受診が行える体制を整えている。知り得た情報はご家族へ報告している。	契約時、利用者と家族にかかりつけ医の希望を確認し支援している。月2回の訪問診療がある。24時間医療連携体制がとられて、週1回の看護師の訪問があり、健康面の管理ができています。内科や他科受診は家族が同行しているが、困難時は職員が同行し、家族へ結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎週1回訪問看護を受けている。毎日のバイタルチェックや日々の情報で気になる事は看護師へ相談や報告・助言をいただき、必要時には適切な受診を受けられるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が必要な時には、速やかに情報を提供できる体制に努めている。病院関係者との情報交換や相談は常に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約の際、ご家族へ重度化した時や終末期に向けた方針は説明している。体調変化時には病院やご家族へは情報を報告し情報共有している。状態経過も速やかに共有している。必要に応じて、病院や本人、ご家族を交えた話し合いを行い対応の仕方・方向性の共有を行っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期について詳しく説明をしている。マニュアルもあり連携がスムーズにできるようにしている。病状変化時はその都度、主治医が家族に説明を行い、施設側を交えた話し合いをして、方向性を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時には速やかに情報共有を行い、応急手当の仕方や対応方法は定期的に確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害発生を想定した避難訓練を年2回行っている。そのうちの1回は消防隊同行での訓練を受けている。災害発時には近隣住民への協力をお願いしている。</p>	<p>年2回昼間を想定した避難訓練を実施している。1回は消防署立ち合いのもと、1回は自主訓練をしている。備蓄は、水・茶・缶詰・レトルト食品・ラーメン・米等を3日分準備している。コンロ・ボンベ・懐中電灯等もある。避難場所は施設の駐車場や近隣の小学校等となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	守秘義務の徹底を図り、個人情報等は事務所の鍵のかかるキャビネットに保管している。自尊心を傷つけないような対応に努めている。	マニュアルを基に勉強会を実施している。トイレ誘導時や使用時はプライバシーが守れるように配慮し、入室時の声掛けやノックをしている。利用者は苗字で呼んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	支援時には本人希望を聞き、可能な限り自己決定をしていただくよう努めている。行動や会話に寄り添う支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースや要望を聞きながら、その日に過ごしたい希望に添った支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の思いや要望が反映できるように髪型や整容を心がけている。ご家族の要望も取り入れている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しんでいただけるよう好き嫌いを聞いたり、お小遣い入金から本人の好物を購入したりしている。できる事は職員と一緒にしていただいている。	季節の食材を使い、美味しく食べられるように工夫し、食欲が湧くように食事前に献立説明をしている。食事形態で代替え食にも対応し、誕生日はケーキを準備している。職員と一緒に下膳・配膳・片づけ等をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>本人の咀嚼や嚥下状態を把握して状態にあった支援を行っている。小食の方への食事量にも配慮している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔内の清潔保持の為、毎食後の口腔ケアの声かけを行っている。必要な方の訪問歯科受診も行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄記録を付け、入居者の排泄時間の間隔を把握しながらトイレ案内の支援を行っている。着脱や拭き上げ等、できることはしていただいている。</p>	<p>排泄チェック表を活用し、周りに気付かれないように優しく声掛けをしてトイレ誘導している。トイレ使用時はドアを閉めるなど羞恥心に配慮している。リハビリパンツとパットを使用していた利用者がリハビリパンツのみで良くなったり、オムツが改善した事例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分補給や繊維物・乳製品の提供に努めている。歩行していただいてあり体操等、体を動かすような支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>脱衣所や浴室の環境整備、室温調整を行いながら、入居者の体調に合わせた入浴を行っている。介助の必要な方には、支援をしている。</p>	<p>週2回の午前中を基本としているが、いつでも希望に応じて入浴できるようにしている。入浴拒否のある利用者には、時間や日にち、職員を変更して対応している。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>生活習慣や生活リズムを把握し入居者の状況に応じた支援を行っている。昼寝・休息を取り入れている。</p>			
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬剤情報を把握し、変更時には確認と申し送りを行っている。</p>			
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>職員と一緒に掃除や洗濯物干し等の家事を行ったり、菜園の手入れや土いじりで気分転換や楽しみ事の支援を行っている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で戸外への外出ができないので菜園の草花や野菜への水やりや草むしり等をしていただいている。</p>	<p>天気の良い日は近隣の散歩をしている。コロナ禍のため外出支援が難しくなっているが、医療機関受診帰りに花見やドライブをして季節を感じて貰っている。広い敷地の中の菜園で、畑の土いじりをしたり収穫を楽しんでいる。少しでも外へ出る工夫をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族よりお小遣いを預かり出納帳を準備して管理している。本人のほしいものやご家族が要望するものを本人の代わりに購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人希望時には電話をしたり手紙を書いたりできるように支援している。手紙を書くことができない方には、代筆や代読、ポスト投函している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>掃除や片付け等、共同空間の清掃を行い、環境整備に努めている。業務終了時や夜勤帯にできる場所は消毒も行っている。居室・トイレ等わかりやすいように案内表示をしている。季節感を出すように折り紙等を使い紙制作物で施設内を飾っている。</p>	<p>共用のホールは感染対策として空気清浄機を置いて換気をしている。テレビやソファがあり、窓が大きく室内が明るい。採光はブラインドで調整している。季節の花を飾り、入所者の作品や塗り絵、ちぎり絵などを掲示している。和室があり好きな場所でゆっくりと寛げるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間のホールではテレビで見たり談笑したりできる空間作りを心がけている。ソファも準備しておりゆっくりと腰掛けられるような場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族の馴染みの物や使い慣れた物等、また写真等をもってきていただき居心地の良い安心できる環境づくりを工夫している。	エアコン・ベッド・鏡付き洗面台・ハンガーかけ・小タンス等の設置がある。寝具類はリースになっているが、使い慣れた毛布等の持ち込みがある。テレビ・家族の写真・ぬいぐるみ・雑誌・花等を飾り、居心地よく過ごせる様に工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室等案内表示をしている。過介助にならないよう自立支援に努めている。歩行時には、介助が必要な方には寄り添い声掛け等を行い、安全にその人の自信につながる支援に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない